

明治元年十一月廿日より明治元年十一月廿六日まで

P8310803right

廿日巳 晴

旅亭へ此謝に柑数枚を遣す、小笠原(元伊勢今福三郎)を問う(活計の策あり)、山本長明日御用召の吹聴あり

廿一日午 晴風

太郎担戯の□往来人願□の詰りあり舖人を煩わす、依て一杯を取らず、須原屋□方を問う、市川丈来りし旨、渡辺と来る、山本長市尹支配組頭被命候旨、吹聴有し、右賀延招かれ享せらる

廿二日未 晴

野口保来り家族引纏として近々上総表出立の旨出し有し、市川丈へ昨来の謝行き面ず
廿三日申 雨意午下漸薄

P8310803left)

近傍両度散歩し私事を弁ず、野口保昨日上総表へ出立の趣に付、鴈書並太郎より

猶歛次郎吉へ贈り品一□持越方大助序を以頼遣す、山本長転懸、賀品遣す、飯塚幸来る

廿四日酉 晴夕陰本雨

山本長亀井文共に□演地一見行く太郎を伴う旅亭支配人清兵衛案内を頼む漁獵を試む
廿五日戌 晴

飯塚幸儀山本へ二泊し今朝帰郷す、□と立よる、昨の漁獵魚を旅亭主人へ分与す

渡辺家内

来る、広沢夫妻同道、児を携へ来る小品持来

廿六日亥 晴

近辺散歩、旅亭主人より赤魚一□尾を贈らる、山本亀井へも分与す

*1:

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。